

風光る丘

札幌市立平岡中央中学校

学校だより

平成31年 4月9日

第28回 入学式

4月9日、札幌市立平岡中央中学校第28回入学式が行われ、157名の新入生が入学しました。新年度は、2年生150名、3年生名、計142名でのスタートとなりました。今号は、式の中で話された、「学校長式辞」「新入生の言葉」「在校生歓迎の言葉」を紹介します。新入生のみなさんが早く新しい環境に慣れ、中学校生活を充実させてくれることを期待しています。

学校長式辞 校長 青木英樹

今から約3週間前の3月20日。本校から平岡小学校と平岡中央小学校の卒業式に出席させていただきました。平岡小学校の卒業式では、卒業証書を受ける場面で大きな声で返事をし、一人一人が自分の言葉で決意や感謝の気持ちを述べていました。ある人は、学習と部活の両立について決意を述べ、中学校生活に向けての思いを語っていました。また、世の中の役に立つ仕事がしたいなど将来就きたい職業について述べたり、親、家族、学校の先生方に感謝の言葉を語っている人もいました。一人一人の言葉に違いはありましたが、自信と誇りをもって小学校を巣立つ姿は皆同じだと感じました。

また、平岡中央小学校の卒業式も式に臨む卒業生の姿や全校児童で創り上げる歌声が大変感動的なものでした。6年前の小学校の入学式では、先輩に手を引かれながら体育館へ入場し、学級全員が一度でスムーズに席に着くことも難しかったですが、6年間という時間の中で成長を遂げ、自らの姿に大きな自信をもって式に臨んでいるように思いました。恐らく、今回、校区外から入学した生徒の皆さんも同じように感動的な卒業式を経て、本校の入学式を迎えているものと思います。小学校の卒業式で新たに決意や感謝の気持ちを決して忘れることなく、これからの中学校生活に活かして頑張ってもらいたいと思います。

皆さんが「入学受付」で本校に登校した4月1日、平成に続く新しい元号が発表されました。この新しい元号は、「大化」という初めて使われた元号から数えて248番目のものとなり、5月1日から日本は新しい時代を迎えることになります。この「令和」という新しい元号の漢字二文字は万葉集に収められているひとつの和歌から取った文字を重ね合わせています。元号が発表され、何度となくマスコミで報道されていましたが、この言葉には二つの思いが込められているようです。

一つ目は「人々が美しく心を寄せ合う中で、この国に素晴らしい文化が生まれ育つように」という思い。そしてもう一つは「厳しい冬の寒さに耐え、春になって見事な花を咲かせるあの梅のように、ひとりひとりが明日への希望をもって、それぞれの花を大きく咲かせることができるように」との願いがこめられているというものでした。偶然ではありますが、この説明に出てきた二つの言葉『心よせあう』と『梅の花』は本校に大きくかかわるものがあります。

本校の教育目標は『心よせあい 豊かな未来を志す人間を育てる』です。また、本校の近隣には1200本以上の梅の木が植えられている道内有数の梅林公園、「平岡公園」があり、生徒たちは小学生の頃から何度となく訪れた場所になっています。本日、「平成」最後の新入生であり、「令和」最初の1年生となる新入生を迎えました。これから始まる学校生活の中で全校生徒449名で、心を寄せ合って素晴らしい文化を創り上げ、梅の木のように、試練を乗り越えて大きな花を咲かせ、本校の新しい時代を創り上げてほしいと願っています。

入学式で私は、いつも新入生にこの話をします。人の心の中には二人の自分がいる。「頑張ろうとする

自分」、そして「怠けようとする自分」がいるんだという話です。中学校ではもちろん「頑張ろうとする自分」に対しては最大限協力をします。しかし、「怠けようとする自分」が現れた時、周りの者はすぐに手を差し伸べることはしません。皆さんの成長を期待して自分で乗り越えてもらう場面が多くなると思います。中学校では自分の心の中にいる「二人の自分」を自分自身の心の中で真剣勝負させる場です。自分の目標に向かって頑張る君たちをお家の方や学校の先生方は最後まで応援しています。若者らしく失敗を恐れずに様々なことに挑戦し、大人の階段を着実に昇って行ってほしいと思います。

あなたたちの先輩は周囲の友人に気を配りながら共に協力し、自分の力を発揮させて、多くの成果を挙げています。本校の教育目標にある『心よせあい』を合言葉に、是非あなたたちも平岡中央中学校の一員として今の自分をより高め、今よりも更に高いレベルを目指して頑張っていってほしいと思います。

(学校長式辞より抜粋)



新入生代表の言葉

新入生代表 永田 彩瑛

雪解けが進み暖かな春の風が吹き始めたこの季節に、私たちは今日平岡中央中学校に入学します。

不安や喜びなどの様々な気持ちを抱きながら、未来へまた一步踏み出します。中学生になると勉強が難しくなり、不安が強いですが、小学校で学んだことを授業やテストに生かし、毎日の家庭学習で、予習や復習をして、しっかりと勉強に取り組んでいきたいと思っています。不安な気持ちがある反面、楽しみな事も多くあります。部活動では3年間頑張ることのできる部に入部し、先輩方を目標に先生方や先輩方、友達と協力しあいながら、いつも楽しく部活動に励んでいきたいと思っています。学校行事では、学年の友達と仲を深め、先輩方と一緒に楽しみながら平岡中央中学校を盛り上げていきたいと思っています。そしてこのかけがえのない友達と出会えたことを、うれしく思っています。一緒に過ごす日々が、今から楽しみです。中学校生活の中で、辛い事やつまずく事もあると思います。そんな時は、先生方や先輩方、友達と支えながら、前向きに新たな希望に向かって全力で突き進んでいきます。先生方や先輩方、保護者の皆さま、まだまだ何もできない未熟な私たちですが、中学校生活3年間の中で共に大きく、たくましく成長していきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いします。最後になりますが、本日は私たちの入学式にご出席いただきまして、ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



お祝いの言葉

在校生代表 大森 結花

日に日に暖かくなり、春の日差しが心地よく感じられるようになりました。今日、この平岡中央中学校に入学される1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい制服、新しい校舎、新しい通学路など、今までとは違うものばかりで、皆さんの心の中は期待と不安の気持ちで一杯になっていることでしょう。私たち、2、3年生も初めてこの学校の生徒として迎えた入学式では、皆さんと同じような気持ちでしたが、周りにいる友達と助け合い、互いに成長していくことで、笑顔とやさしさが溢れる充実した学校生活を送ることができるので、安心して、これからのスタートを切ってください。また、私たち2、3年生は、新しい仲間との出会いを楽しみにしていたので、少しでも不安なことや気になることがあれば、是非私たちに声をかけてください。中学校には、仲間と絆を深められるような学校行事があり、さらに小学校ではなかった部活動があります。部活動は仲間とともに協力しながら喜びを味わうことができる素晴らしい活動です。また、部活動をきっかけに、学年学級を問わず、色々な人と仲良くすることもできるので、是非チャレンジしてみてください。平岡中央中学校には、代々先輩方から引き継いでいる二つの伝統があります。一つ目はあいさつです。この学校では、先生方や友達同士はもちろん、先輩、後輩同士、学校にいらっしゃる地域の方々にも明るく、大きな声であいさつをすることを心がけています。あいさつにはその場の雰囲気をよくするだけでなく、人と人を結ぶ力があります。初めは、勇気がいるかもしれませんが、積極的にあいさつをしましょう。二つ目は、合唱です。この学校の校歌は、女子がソプラノとアルト、男子がテノールとバスの4つに分かれる混声四部合唱で歌われています。儀式的行事など体育館いっぱい響きわたる校歌は、とても美しく、迫力があります。皆さんも私たちと一緒に素晴らしい音色の校歌を歌っていきましょう。この後、皆さんに紹介したいと思うので聞いてください。これから皆さんは3年間、この学校で過ごしていくこととなります。とても楽しいこともあれば、時には悩む出来事もあると思います。ですがそんな出来事も含め、皆さんが卒業する時には色鮮やかな、素敵な思い出が溢れるように悔いの残らない3年間を送ってほしいと思います。そしてどんな時にも、皆さんを見守っている、家族や先生、先輩たち、そして友達の存在を忘れないでください。困った時には、そんな仲間を是非頼ってください。今日から始まる皆さんの学校生活が笑顔溢れるものになるよう、学校全体で協力し、頑張っていきましょう。これからよろしくお願いします。